



平成30年1月24日

各 位

会社名 株式会社アダストリア
 代表者 代表取締役 福田 三千男
 会長兼最高経営責任者(CEO)
 (コード番号 2685 東証第一部)
 問合せ先 経営企画部長 高野 美香
 (TEL: 03-5466-2060)

平成30年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成29年9月29日に公表いたしました平成30年2月期通期連結業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成30年2月期連結通期業績予想の修正（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成29年9月29日発表)	百万円 230,500	百万円 13,500	百万円 13,500	百万円 11,000	円 銭 233.84
今回修正予想 (B)	223,000	5,000	5,400	4,400	93.53
増減額 (B - A)	△7,500	△8,500	△8,100	△6,600	
増減率 (%)	△ 3.3	△ 63.0	△ 60.0	△ 60.0	
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年2月期)	203,686	14,916	15,126	11,575	242.49

(参考) EBITDA

平成30年2月期通期 (予想)

前回発表予想 22,800 百万円 → 今回修正予想 14,300 百万円

のれん償却前 EPS

平成30年2月期通期 (予想)

前回発表予想 291.23 円 → 今回修正予想 150.93 円

<修正の理由>

国内小売事業におきましては、ニコアンドなどライフスタイル全般を提案するブランドの売上高は好調に推移しましたが、ヤングカジュアル市場全体の低迷に加え、季節の変化に対する対応が十分に機能しなかったこともあって、売上高が予想を下回る見込みです。

下半期のスタートにあたって、商品の仕入をより精緻にコントロールして値下げ率の上昇を抑制することを意図しておりましたが、上述の通り売上高が予想を下回って推移したため、仕入をコントロールしても在庫消化のために値下げ率の上昇を抑制するには至りませんでした。また、仕入コントロールの一環として行った短納期化の影響もあって原価率も上昇した結果、売上総利益率が低下しました。

海外子会社につきましても、売上規模が大きい香港・中国で市場のニーズをとらえきれずに売上高・売上総利益率が予想を下回ったこと、今期新たにグループ化した Velvet, LLC も米国アパレル業界の低迷が想定以上であったことなどの要因により、利益が予想を下回る見込みです。

さらに、資産の精査を進めた結果、システム関連資産の除却損、在庫評価引当金の計上等を織り込みました。

以上の要因により、連結営業利益以下の各段階利益の予想につきましても下方修正させていただきます。

(注) 上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上